



子どもによる薬の誤飲防止へ包装改良を要請 厚労省

竹野内崇宏

2016年7月16日06時48分

子どもによる薬の誤飲事故を防ぐため、厚生労働省は15日、シールをはがしてからでない錠剤を押し出せないなど、子どもが開けにくいような

包装（チャイルドレジスタンス包装）を検討するよう製薬業界に

対して通知を出した。子どもの誤飲リスクが高いことや、電話での相談

先を保護者に病院や薬局で知らせるため、日本薬剤師会などにも注意喚起を

依頼した。薬はたばこと並んで家庭での誤飲件数の上位を占め、消費者庁

の消費者安全調査委員会（消費者事故調）が厚労省に対策を要請。これを受

け、厚労省は、睡眠薬や血糖値を下げる糖尿病治療薬、降圧剤など重い中毒

症状が出るおそれがある薬を中心に、包装について子どもが誤開封するリス

クを再検討し、筋力が落ちる中高年には開けやすい包装などの検討

を求めている。誤飲時の相談先は、大阪中毒110番（072・72

7・2499、24時間対応）、つくば中毒110番（029・852・9

999、午前9時～午後9時）などがある。

<アピタル：ニュース・フォーカス・その他>

<http://www.asahi.com/apital/medicalnews/focus/>（竹野内崇宏）